

琉球大学学術リポジトリ

米国管理下の南西諸島状況雑件 沖縄関係 毒ガス
問題 第2次移送

| | |
|-------|---|
| メタデータ | 言語: 出版者: 公開日: 2019-02-13 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: - メールアドレス: 所属: |
| URL | http://hdl.handle.net/20.500.12000/43781 |

10
才
ニ
次
ル
ー
ト
建
設
費

2/25 共同の意見
佐野 石田 佐野 佐野

B.

補

屋良主席との会談メモ

2月24日 吉岡

1. 番がス搬出ルート問題

地方、去中申了 7案のルートについて米琉合同の土地
 踏査も終って米側の行政方針としての方針が
 定まらないようでは、搬出時期の早期化の
 観望から困惑している。ニコストン島の受入
 も琉球側の早期搬出の強い要望を受けて
 かなり無理に工事を急いでいると思われ
 ところ、ニコが完成後も空屋同然というところ
 は、内外世福の琉球側に対する同情も
 うすらくない。第1案ルートに落着くなら未
 だしも若干なりと追加工事をする場合
 は予算^(の予備)も^(の予備)百廿万程度もかなり90%
 を見込まねばならないからなお更急の対応

元々第1案ルート下の線の本格的な路線
 であることは確かか、

主席： 前回の経験で行政が独走の非難も
 あつたので、最終的には行政がとりま
 ざるを得ないとしても、それまでの間立法院
 を含め^(地権者)各界の意見を言うに付去わせて、結
 局「これより他方がない」と言う気分を作つた
 ところ、行政が表に出るといふ段階
 で進めようか、たしかに徒然時と知
 ずにはできないのにこの数日中には方針
 を整理し或る程度腹案をまとめて日米政
 府、昇降官に相談したい。

第1案ルートは経済的にもたつたとい
 へば、土地踏査の結果自分が最も抵抗の
 少ないルートは第1案^(カチ) (カチ基地を由72%)

場、即ち砂辺と水釜の中内海岸、出
る案)が好ましいと思ふ。但し、この案にはカテナ
村の反対が予想され、また米軍も好まないと
思ふので、自分の口から、これが良いとは絶
対に言いたくないので、自然に大勢がこの案
に反ればよいかと思つてゐる。

考案：この案は住民地区を形式上(実質は金
網を隔てるだけ)避ける利点はあつても
実体と知れば^{国信}住民も反対しようし、棧橋
の建設を要し費72万円(6カ月)と云う
見積りも極めて^{甘すぎるのではないか}天候棧橋
は、3年近く工期を要しと聞いたりするので、
(注：先で調査したところ、計画作業1960/2月
から1963年5月、建設作業1963年5月から66年2月
工費280万円と判明)この案は今回の

目的には適当と思はない、米側の異論
については自分か代弁する立場ではな
か十分想像される、その角、右顧左顧
も程々にして(全然不必要とは云わぬが)
申し案の説得可能性をもう一度真
剣に考え、止むを得なくても案IIA案
(工費20万ドル工期5カ月)位をベース
にして考案方をまとめることが最も現実
的であろう。

主席：案II案がダメなら、次は左(か)に^中案IIA案
かよいと思ふ、案II案は工期12カ月と
いうところ、難点があるが、目こけ棧橋と
ちがって道路の工費から突貫工事でもこれ
を相当短縮できれば、案IIA案よりも更に
(^{東恩納と西田村を4.5万ドル})
よい、こういうことも含めて部内でもう一度

検討して腹案を得たり早速高瀬大

使にお会いし指示を仰ぎたい。

当方：先般偶然石川市長と会食した際、

同人(自民党)は、必きり行政府を困ら

せたいよう地味を説得するが、むしろ

地が石川市(東恩納)だけになると、

何故自命を打ちかけ犠牲になるのか、と

いう批判が出ておもしろい。他(の村を)

1-2箇所捲きこえていく方が

説得し易い、と仰いでいた。

こともあり、(正期以外に)第Ⅲ案は

題があるのではないか。

主席：そのような事情も含めて、とら角一両日

考えさせて下さい。

2. 軍務才又波スト問題

当方：(1) 3月2日の才又波ストを本土並みに

2-4時内ストに短縮するよう金軍務を

説得できないか。

(2) カナダ才又波ストを次回は米側で閉

鎖せよ、但し通行は米人のみに限るとの

考えをジョーンズ少将から金軍務に伝えて

その経過手続の状態にある由だが、これに

ついて主席のインフルエンザを行使する可能

性はないか。

主席：(1)については、(退職見舞金等) 日米政府の示された抑圧感

(般立のような緊張感) には、は、
は、大変有力な抑止力となるか、組

合幹部には、それなりの「家庭の事情」があつ

て、才又波のストは避け得ないと思

う。ここで米側から解雇削減予告期間の

延長といふ追加的要素を示す。組合幹部のフェイスサービスの口裏な条件が与えられれば何とかなると思ふが、然らざる限り、スト時間の短縮はむづかしい。

(1) かしこも角、自分も納得の努力してみる

(2) はかには「米人のみを通ず」といふ保証とか信頼を組合がどう考えるかによると思ふ。例へば、組合代表1-2名をシンボリックにオガサーバにてゲート係に立たせるという事で組合と話し合ひ
する。この方は(1)よりは多少楽観している。

THE UNITED STATES HIGH COMMISSIONER
RYUKYU ISLANDS

23 March 1971

Dear Mr. Chief Executive:

I have received and carefully considered your letter of 19 March 1971 concerning the removal of chemical munitions from Okinawa.

As High Commissioner and as Commanding General, U. S. Army Ryukyus, it is my responsibility to ensure that the storage and removal of these munitions is carried out without any injury or harm to the people of Okinawa. This is a responsibility to which I, like my predecessors, have attached the greatest importance and to which I have given the most careful personal attention.

I can assure you that every measure is planned and will be taken to ensure that all the chemical munitions now stored on Okinawa are removed from Okinawa in complete safety. I wish to point out that, in the entire history of the movement of chemical munitions by the U. S. Army, there has never been any instance of an incident occurring which has caused harm to, or endangered the safety of, the inhabitants along the movement route. In Okinawa, the safety standards and measures which were applied during the first shipment on 13 January and those which will be applied during the future shipments are equal to if not in fact more stringent than the safety standards and measures which have been applied during similar movements of chemical munitions within the United States.

I understand the desire of the Okinawan people to receive maximum information on arrangements, especially with respect to safety, for the removal of chemical munitions. You may be sure that the U.S. authorities wish to work closely with the Government of the Ryukyu Islands to provide to the people of Okinawa as much information as possible.

We will provide the Government of the Ryukyu Islands with a full schedule for the removal of chemical munitions as soon as such information is available to us. We expect to be able to provide schedules of planned movements and shipments, including information on the kinds and properties of munitions to be moved, at least 30 days in advance. These schedules will of course have to be somewhat tentative in nature and subject to change in the event of bad weather conditions or other unpredictable factors. More specific information will be provided to the Government

The Honorable Chobyō Yara

23 March 1971

of the Ryukyu Islands 48 hours in advance of each day's movements. This information will include the number and composition of convoys and the time of movement of each convoy for the particular day as well as the type of munitions to be moved in each convoy.

We will also provide information on the method of decontamination which would be used in the event of an incident. There is every reason to believe that no incident which would require exercise of decontamination procedures will occur, given the stringency of the safety precautions that are being taken and the fact that no such incident has ever occurred in the past.

We would be willing to have a team of experts, who are jointly agreed to by the Government of the Ryukyu Islands, the Government of Japan and the U. S. authorities, verify the removal of the chemical munitions. We are prepared to work out, in cooperation with the ORI and the GOJ, appropriate arrangements for the inspection and witnessing of the removal operation which would not create any hazard to the observers or interfere with those responsible for the movement and shipment of the munitions.

It has always been the position of the United States Government, because of the stringent safety standards applied to the movement of chemical munitions, that there is no reason or need for evacuation of inhabitants living along the route of removal. There has never been any evacuation carried out over the many years and many movements of chemical munitions in the United States. However, in the very unlikely event that there should be an incident resulting in the leakage or spill of one of the liquid chemical agents during the movements of chemical munitions in Okinawa, we are prepared to evacuate any persons in the area of the incident as required, by bus or other suitable means. If evacuation were considered necessary by the U. S. authorities, the United States would of course be prepared to consider claims for compensation from individuals who may have sustained loss or damage as a result of such evacuation.

I have asked Major General Hayes, Commanding General of the Second Logistical Command, to meet and work out with you and your staff safety measures as well as other arrangements for the removal of chemical munitions from Okinawa. We all hope the removal can be accomplished without delay.

Sincerely,



J. B. LAMPERT
Lieutenant General, United States Army

The Honorable Chobyō Yara
Chief Executive
Government of the Ryukyu Islands
Naha, Okinawa

大臣の
お任せ

7/2

アメリカ局長
参事官
北米第一課長

安全保障課長

才2次毒ガス搬送経路について

46. 3. 12
北米1

1. 津備委 三木一佐の電話連絡に於て
琉球立法院は本件につき12日午後3時

(経過2参照)

10分、才2、才3案の折衷案を採用する
議決し、同院議を午後3時40分、尾良主

席に提出した。なお院議の付帯条件次
のとおり。

(1) 土地の起伏、屈折を改修し安全を
期する。

(2) 米側医療総官の調査の際、本土から
の専門家を立合わせる。

(3) コースの堅定に当つては、住民の安全措
策を期する。(避難経路と見合わせる由)

2. 才2、才3折衷案ルートのとおり。

(1) 知花弾薬庫より北上し瑞慶山ダムを
北回り、池原にある。

(米町比)

(2) 池原より東恩納を経由天願棧橋に
出る。(才1次ルートと同じ)

(ルビ建設)

3. 本件を踏み、タイミングと経費につき、同
佐が琉球政府高川総務局長と確める

に、次のとおり。

(1) タイミング

瑞慶山ダムを迂回する橋を架橋し、また、
池原にある道路の改修(用地の接收も

含む)に約2ヶ月位を要する見込み。

(2) 経費

当然米側に要求するにせざる

(11) その他

前記3付帯条件のうち3項の

安全基準の明示と事前避難について
は早急に検討する。

極秘

注意

- 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
- 2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

選びたる前記2/名以外にGRI独自にて本土より招請する意図なしと答えたり。)

2. 右に対し弁務官より、ジョンストン島の受入準備は5月/5日を以つて完成すべく、それより後は何時にても受入可能となること及び第2A案(スケ山経由)ルート^{は4日}の補修建設に要する期間は60日にして、全ガス兵器の^{は4日}に要する期間は船舶の大きさにもよるも概算60日なることを説明す。

3. 更に弁務官は、先般のワシントン出張の際はパッスマン委員会における証言が主たる任務なりしも、多数の時間が国防当局とのガス兵器撤去問題につきて使われ、早急実施方を強く要請せられたることを申し述べたる上、例えば、4月/5日を期し、ルートの発表、工事の実施を行なえば6月/5日にははん出開始せらるべく、台ふう等による障害の可能性はあるも8月中旬には撤去完成を見るべし。ついで明//日(日よう)再度ワシントンに赴くこととなり居るが、右出張より帰来直後に弁務官及び主席の名においてルートその他を発表することにつき貴見如何と主席の意見開ちんを要請せり。

4. 右に対し主席より、弁務官の非常に急ぐも出来ざることを強要しくしめる意思なしとのことは多とするも、現地機関は反対の決議を行ない居り、右に対し困難なる説

953 極秘

注意

- 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
- 2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

総番号(TA) 18521
 71年4月10日20時05分 沖繩 主管
 71年4月10日21時04分 本省 発着 米北1

外務大臣殿 高瀬(大使) 臨時代理大使 総領事 代理
 ランパート弁務官との会談

第387号 極秘 至急 (ゆう先処理)
 往電第375号に関し

本/0日弁務官ていにおいてどくガス撤去問題につきアラ主席と共に3者会談を行ないたる処左記の通り。(ノールズ及びサンキ同席)

1. 主席より、本件に関するGRIの対策につき説明あり、米りゆう合同委員会のし事振り、りゆうきゆう大学を中心とする科学者2/名に対するしよくたく辞令の交付及び作業の開始、第2A案沿道のエノピ、ヒガシオンナ、コンブ3部落に対する説得振り、住民の安全を保証するため万一の際における事故対策としてのいりよう班、消火班、消どく班、広報班、ゆう導班を組織する必要性等につき言及し、主席自身事の急を要することを十分認識し居るも、立法院が行ないたる調査、説得において可成りの時間を要したる点にもかんがみ、「ルート」決定の発表、住民の説得を円かつに実現することはなかなか困難なりとの発言ありたり。(本使の質問に対し主席は、学者団はおきなわより

ソカヒ
 大蔵省
 事務次長
 官官審審長長
 儀儀人電厚計
 儀書文会管給

調査長
 参企析調
 参領移長

ア 参地中東
 長 北東西
 米長 参北北保
 中南審
 参西東洋
 長 西東

近ア長
 参審近ア
 経 次総経国万

長 参質統
 参政技二
 協 国一理

長 参条協規
 国 参政経科

長 参道内外
 清 軍社専
 文 参道内外
 長 一二

極秘

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

得が必要なることは無論なるが、補正予算の問題その他種々雑多（発言のまま）の難件あり。自分としては極めて困難なる状況にあるも、兼ねてよりガス兵器の急速なる撤去は決意し居る処なりと前提し、協力を約する旨発言す。弁務官は更に語を継ぎ、ヘイズ少将をして、合同委員会に対する協力を倍増せしめ、主席の関心の存する、住民に対する安全の確保につきての施策を早急に実施せしむる様措置すべしと述ぶると共に、4月25日に弁務官、主席の名における発表如何と切り込みたり。

5. 右に対し主席より、りゅうきゆう学者グループをして安全確保措置につきての作業を急がせ居るにつき、ヘイズ少将と至急連絡せしむべしと前提し、らつ観出来ざるも（発言のまま）発表が出来るよう努力すべしと応ず。弁務官より道路補修工事に要する60日の期間あるを以つて、右の間に住民対策は十分これを行ない得べく、要すれば自分はラジオ、テレビにも出て説明すべく、高し勢を採る意思はみじんもなきも、住民に対しGRIとの協力及び安全の確保を約束したる上、好むと好まざるとにかかわらずはん出の方針、要領（ルート決定を含め）につきて言明せざるべからざる地位にありと説明す。

6. 右4月25日説に対し、更に主席より、これを4月3

極秘

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

0日までに（BY THE LAST DAY OF APRIL）と改めることのごん請あり。本使よりも然るべく助言し、右に決定したるが、主席は全力をつくして取急ぐこととすべしと確言せり。

7. じよじよの次第を以つて4月末までのなるべく早き日時でガス兵器撤去の「ルート」及びその態様につき米りゆう双方名における発表行なわることとなりたり。今次決定を見たる経緯において、主席が困難なる事態にもかかわらず決意を以つて協力したることは明らかにして、また実施に至る間における説得その他の準備工作は複雑なる経過をたどるべきも、今回の同意を見たることは誠によろこばしきものありと思料さる。

8. なお、本件に関するるい次往電を以つて所報の通り、ルートにつきては第2A案が確定し居ることは米りゆう共に十分誠認し居る処なるを以つて、発表につきての期日が同意せられたる現在、第1に直面する問題は米側申し出に係る右に要する経費20万ドルの本邦政府による負担問題と相成りたる次第なり。右につきては未だ明示的なる御回示に接し居らざる処、来週中にはぜひ共御通報を得たく、なお、具体的に右支出の態様、経路、その他手続につきても御すい示願い度し。

会談の終時弁務官はヘイズ少将を招致、成り行きを説明す

極秘

注意

- 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
- 2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

ると共に、米りゆう間の協力態様を急速かつ十分ならしむる様指示する勉ありたり。

(丁)

— 5 —

大臣
次長
法務部長
外務大臣
事務長
事務次長
事務次長
事務次長
事務次長

極秘
まで
部の内
号

在沖高麗大使の来電を対等方当局に

46. 3. 23
米北-長

本件に因りて在沖高麗大使の来電を対等方当局に
手交検討方要請(おまゐるといふ) 23日夕刻追水

総務部長秋吉官の如く(中)長官の感觸とに(連絡)取
せるといふ(在米)同(総務)部長(理由)方(長官)の指示ありといふ

同部長不在の及秋吉官の直接申(取)次(方)なり。

1. 實は 外務大臣、大藏大臣、官房長官との間にて
建設費は全額出(し)に決(ま)りてある。

2. かし今(は)此(を)意向(に)言(は)す(状)況(に)在(り)。(在米)政府(が)此(を)押(し)付(け)る(等)の(設)計(に)起(す)。局長(主席)の

地元(民)説(得)が(認)り(建設)に(か)い(る)程(度)で(表明)す
こと(然)る(べ)し。(は)当(方)の(説)得(の)援(護)の(為)に(せ)る(早)く
表明(す)こと(併)せ(て)之(を)と(指)指(し)先(方)を(考)慮(す)同(意)す

GA-6

(可能性)

外務省

まかえ撤去 (経費と工期計算) 沖米電 222 号より

| | (1) 総工事費(円) | | | (2) 総工期(月) | | | (3) 総延長 (km) | (4) 公道通 過距離 (km) | (5) 1-Km以内 地区台 数 | (6) (5)の 戸数 | |
|-------------|--------------|-----------|---------|---------------|--------------|------------|-----------------|------------------------|------------------------|----------------|------------------|
| | 工事費 (工事費) | 用地費 | 用地費 | 工事期間 (用地外) | 工事期間 (用地) | 用地取 得期間 | | | | | |
| 才1案 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 11.6 | 11.6 | 9,372 | 1,743 | * 用地取得のための4ヶ月を念心 |
| 才2案 | 326,000 | | | 10* | | | | | | | |
| | 75,000 | 220,000 | 31,000 | 1 | 6 | 4 | 12.5 | 7.8 | 5,492 | 1,020 | |
| 才2才3 折衷案 | 200,000 | 0 | 0 | 5 | 0 | 0 | 12.5 | 7.7 | 5,492 | 1,020 | |
| 才3案 | 650,000 | | | 12* | | | | | | | |
| | 200,000 | 350,000 | 100,000 | 5 | 8 | 4 | 11.4 | 3.8 | 3,442 | 602 | |
| 石川市 案 | 2,650,000 | | | 22* | | | | | | | |
| | 200,000 | 2,350,000 | 100,000 | 5 | 18 | 4 | 10.7 | 9.6 | 2,754 | 507 | |
| 具志川市 案 | 2,000,000 | | | 18 | | | | | | | |
| | 2,000,000 | 0 | 0 | 18 | 0 | 0 | 10.8 | 10.8 | - | 未調査 | |
| 建設局 案 | 720,000 | | | 6 | | | 6.7 | | | | |
| | 720,000 | 0 | 0 | 6 | 0 | 0 | ~7.2 | 0.05 | 0 | 0 | |

アメリカ局長
参事官
北米才一課長

外務省

GAS

3/4 100 号

アメリカ局長

参事官

北米第一課長

秘密標記(赤色)

秘

至急

米保長
糸心長

第 101 号
昭和 46 年 2 月 25 日

外務大臣 殿

在準備委代表事務所
高瀬代



(件名)

毒ガス撤出ルート関係資料送付

首席参事官

総務

渉外調査

航空

科学協力

連絡調整

調査

力ナダ

局長

引用公・電信

日付・番号

往電ナ 242号

2月23日ラシポート并務官と会談せ日際、同
并務官が本便に手交せ日撤出ルートハ工費、工
期見積り及ルル関係地図ニ部別添送付
ナリ。

付図添付 付図電送(DP) 付図郵便(黄) 付図船便(郵)

本信送付先:

本信写送付先:

省内写配布希望先:

GA-3-1

在外公館



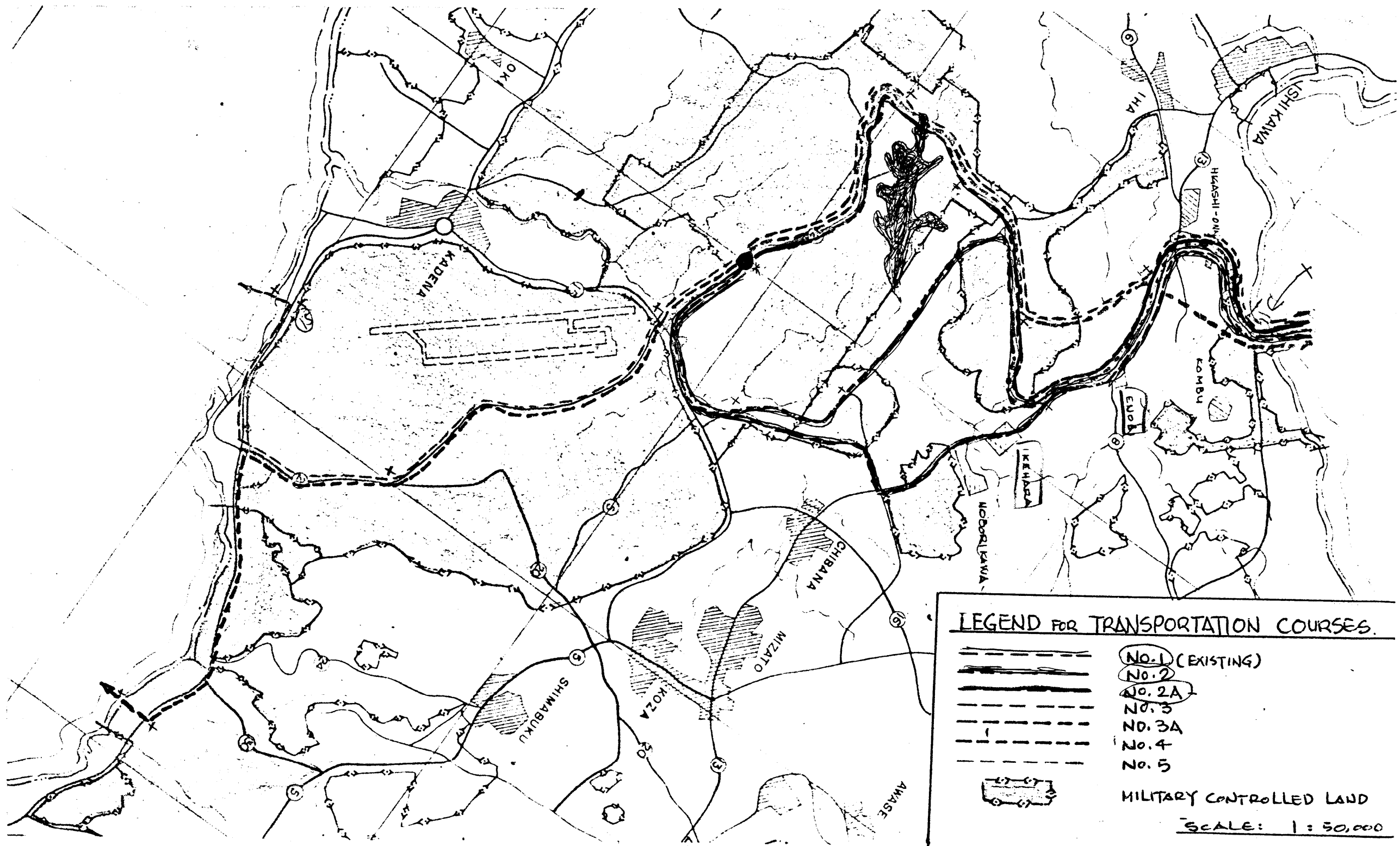
Handwritten notes on the right margin, including '3/4 100 号' and other illegible characters.

COST AND TIME ESTIMATES






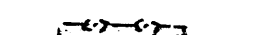
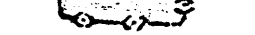
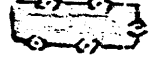
| | PLAN I "PRESENT ROUTE" | PLAN II "MARINE ROAD TO 13" | PLAN IIA "RESERVOIR MARINE RD TO 13" | PLAN III "RESERVOIR MARINE RD TO 13 NORTH OF ENOBI" | PLAN IIIA "PLAN III W/TUNNEL" | PLAN IV "KADENA TO SUNABE TO HANBY" | PLAN V "KADENA TO TEMP PIEP AT TANK FARM" |
|-------------------------------|---------------------------------|---|--|--|--|---|--|
| Total Cost | 0 | \$326,000 | \$200,000 | \$650,000 | \$2,650,000 | \$2,000,000 | \$ 720,000 |
| Total Time (mos) | 0 | *10+ | 5 | *12+ | *22+ | 18 | 6** |
| Const Cost | | | | | | | |
| a. On Mil Land | 0 | \$ 75,000 | \$200,000 | \$200,000 | \$ 200,000 | \$2,000,000 | \$ 720,000 |
| b. Off Mil Land | 0 | \$220,000 | 0 | \$350,000 | \$2,350,000 | 0 | 0 |
| Real Est. Cost | 0 | \$ 31,000 | 0 | \$100,000 | \$ 100,000 | 0 | 0 |
| Time in Months | | | | | | | |
| a. Const (On mil land) | 0 | 1 | 5 | 5 | 5 | 18 | 6 |
| b. Const (Off mil land) | 0 | 6 | 0 | 8 | 18 | 0 | 0 |
| c. Real Est acquis | 0 | 4+ | 0 | 4+ | 4+ | 0 | 0 |
| Total Length (KM) | 11.6 | 12.5 | 12.5 | 11.4 | 10.7 | 10.8 | 6.7-7.2 |
| Dist on Public Highways, KM | 11.6 | 7.8 | 7.8 | 3.8 | 9.6 | 10.8 | 0.05 |
| Ryukyuan resident within 1 KM | 9372 | 5492 | 5492 | 3442 | 2754 | Unknown but densely populated | 0 |
| Ryukyuan homes within 1 KM | 1943 | 1020 | 1020 | 602 | 507 | Solid built-up area | 0 |

*Includes 4+ months for real estate acquisition
 **Plan developed by CFI Const Dept - now being reviewed by D/FE USAPYIS

FEB 10 1971



LEGEND FOR TRANSPORTATION COURSES.

-  No. 1 (EXISTING)
 -  No. 2
 -  No. 2A
 -  No. 3
 -  No. 3A
 -  No. 4
 -  No. 5
 -  MILITARY CONTROLLED LAND
- SCALE: 1 : 50,000